



2020年3月期 前半期決算説明会

2019年12月4日（水）

 **高島株式会社**



1. 高島グループ 会社概要

- 1-1.会社概要
- 1-2.企業理念
- 1-3.事業所・関連会社

2. 2020年3月期 前半期決算概況

- 2-1.連結業績
- 2-2.セグメント別概況

3. 2020年3月期 通期業績見通し

4. 中期経営計画について

- 4-1.現中期経営計画『サステナ2020』の振り返り
- 4-2.次期中期経営計画策定について

1. 高島グループ 会社概要

1-1. 会社概要



創業	1915年10月
本社所在地	東京都千代田区神田駿河台2-2 御茶ノ水杏雲ビル
資本金	38億127万円
上場開始	1949年（東京証券取引所）
発行済株式総数	4,564,573株（単元株式数100株）
決算期日	3月31日

企業使命

「事業を通じて社会に貢献する」

- ・経済、環境、社会における【サステナビリティ（持続可能な発展）】の為に、高島グループはオリジナルな発想を活かし、高島グループならではの方法で社会にアプローチし、積極的に世の中に役立っていきたい。

経営姿勢

誠実一筋

誠意をもって約束を守り、明るく素直で、また謙虚で、感謝の念を忘れず、法令遵守はもとより、規律を守り、正しいマナーを身につけることにより、信用と信頼を蓄積していく。

行動基準

自主・自発・自責

常に向上を目指して自己研鑽と創意工夫を心掛け、チャレンジ精神とプラス発想でものごとを前向きにとらえて、自責で行動する。

事業領域

多角的専門商社

いくつかの専門市場分野において深く事業に精通し、またニーズに応じて付加価値をつけたりシステムやソフトを開発する能力を持つ。同時に創意的な知恵とチャレンジ精神で新しい事業に積極的に挑戦し、新たな専門分野で事業を確立していく。

1-3. 事業所・関連会社

グローバルな視野を持ちながら、
地域との密着を大切にする「グローバル展開」を重視

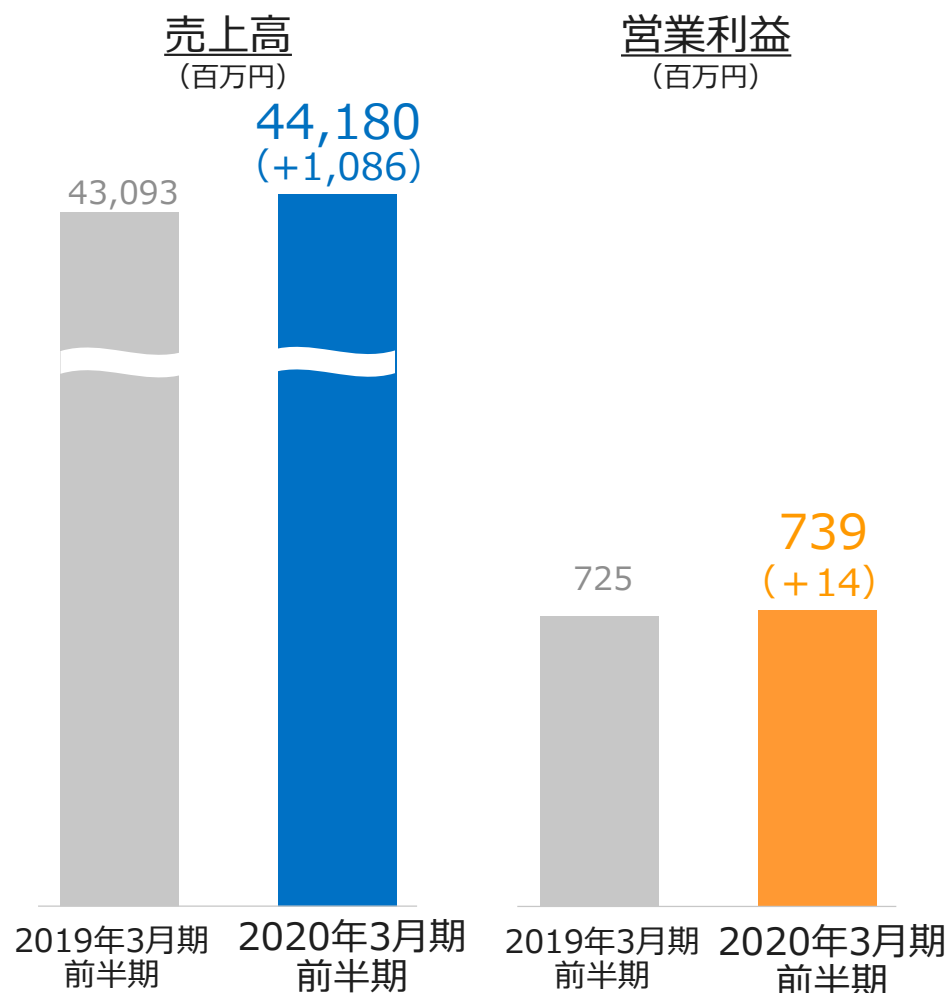


2. 2020年3月期 前半期決算概況

2-1. 連結業績_売上高・営業利益



売上高及び営業利益は増収増益



売上高

44,180百万円
(前年同期比 102.5%)

営業利益

739百万円
(前年同期比 101.9%)

2-1. 連結業績_経常利益・四半期純利益



経常利益及び四半期純利益は減益

経常利益
(百万円)

純利益
(百万円)

経常利益

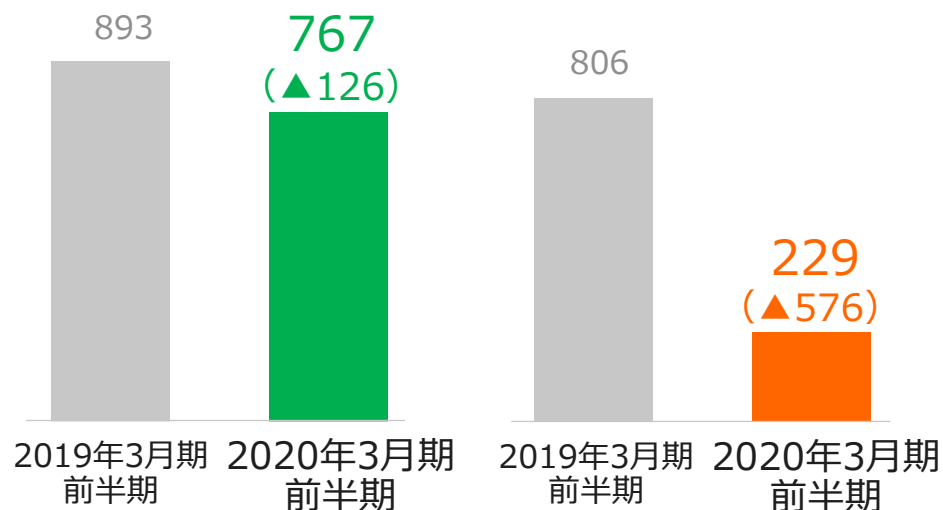
767百万円

(前年同期比 85.9%)

親会社株主に帰属する
四半期純利益

229百万円

(前年同期比 28.5%)



2-1. 連結業績_PL概況



前年同期は保有賃貸用不動産及び保有有価証券を売却しており、
加えて2019年1月発生の当社連結子会社小野産業株式会社の火災事故からの
復旧過程で発生した費用計上の影響により四半期純利益は減益

※火災事故による損害及び事故関連費用については損害保険を付保しておりますが、
当該損害に係る保険金の受取額は確定していないため、当第2四半期連結累計期間では計上しておりません。

(単位：百万円)

科目	2019年3月期 前半期	2020年3月期 前半期	増減額	前年同期比
売上高	43,093	44,180	+ 1,086	102.5%
売上総利益	4,023	4,144	+ 120	103.0%
販売費及び一般管理費	3,298	3,404	+ 106	103.2%
営業利益	725	739	+ 14	101.9%
営業外損益	168	28	▲ 140	16.6%
経常利益	893	767	▲ 126	85.9%
特別損益	227	▲ 274	▲ 502	—
税金等調整前 四半期純利益	1,121	492	▲ 628	44.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	806	229	▲ 576	28.5%

2-1. 連結業績_BS概況

子会社の有形固定資産の増加の一方で、
時価の下落により投資有価証券が減少も大きな変化なし

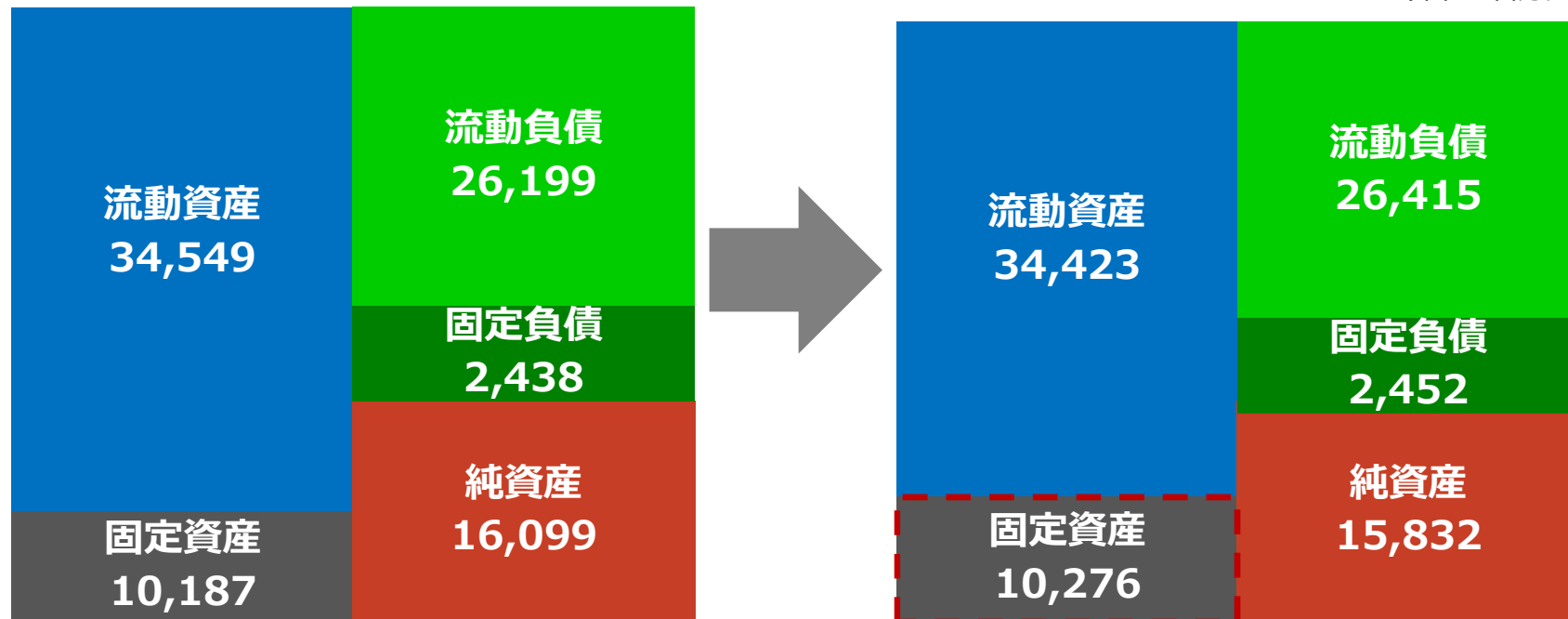
前連結会計年度
(2019年3月31日)

総資産：44,736百万円
自己資本比率：36.0%

当第2四半期連結会計期間
(2019年9月30日)

総資産：44,700百万円
自己資本比率：35.4%

(単位：百万円)



2-1. 連結業績_CF



営業CFは、税金等調整前四半期純利益の計上によりプラス
投資CFは、有形固定資産の取得によりマイナス
財務CFは、短期借入金増加によりプラス

(単位：百万円)

科目	2019年3月期 前半期	2020年3月期 前半期	増減額
営業キャッシュフロー	▲148	790	+939
投資キャッシュフロー	727	▲188	▲915
財務キャッシュフロー	▲473	532	+1,005
現金及び 現金同等物の残高	2,581	4,180	—

2-2. セグメント別概況_建材（売上高・営業利益）



売上高・営業利益共に増収増益

売上高
(百万円)

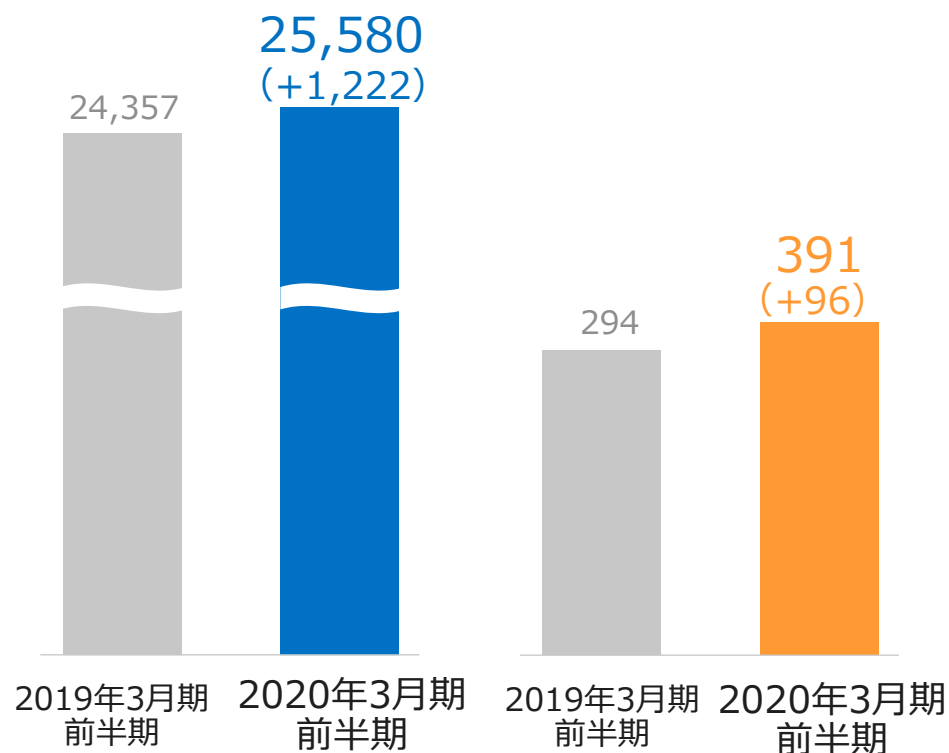
営業利益
(百万円)

売上高

25,580百万円
(前年同期比 105.0%)

営業利益

391百万円
(前年同期比 132.7%)



2-2. セグメント別概況_建材（分野別売上高）



建設資材分野 : 建設関連市場が堅調に推移し、増収
太陽エネルギー分野 : 産業用が増加も、住宅用が市場の落ち込みに伴い減収

（単位：百万円）

分野	2019年3月期 前半期	2020年3月期 前半期	増減額	前年比	要因
建設資材	17,914	19,283	+1,368	107.6%	・各種建設需要は堅調に推移
太陽エネルギー	6,443	6,296	▲146	97.7%	・当初想定以上の住宅用PV減少
合計	24,357	25,580	+1,222	105.0%	・太陽エネルギー分野の減少を建築分野にて賄い、増収

2-2. セグメント別概況_建材（トピックス）



2019年10月1日付で株式会社レストを連結子会社化

企業情報

会社名 : 株式会社レスト

代表者 : 代表取締役社長 吉田修一

資本金 : 2,000万円

事業内容 : トイレブースの製作・施工等

創立 : 1980年4月1日

所在地 : 静岡県静岡市清水区堀込345-2

URL : <http://www.resttime.co.jp>

The screenshot displays the Rest Corporation website. At the top left is the Rest Corporation logo. Below it are sections for 'COMPANY INFORMATION' (会社概要), 'REST ROOM DIVISION' (トイレ環境事業部), 'MAM HOUSE DIVISION' (ママハウス事業部), and 'CONTACT' (お問い合わせ). A grid of images shows various interior designs, including restrooms and living areas. Below the images are sections for 'BLOG フログ', 'LINK 集', and 'TOPIC トピック'. The 'NEWS' section is visible, listing several articles with dates and titles, such as 'かたつわり販売開始' (October 29, 2019) and '高島株式会社 (証券コード8007) グループの一員となりました' (October 1, 2019).

2-2. セグメント別概況_建材（トピックス）



グループ機能強化を対外へ発信する為、マスメディアへ広告を出稿

日本経済新聞朝刊（全国版）：11月18日（月）・11月29日（金）

更なる付加価値機能創出へ—

リニューアル市場は ワンストップで応える

TAK × Rest Corporation

2019年10月1日に創業104年を迎えた多角的専門商社、高島グループは10月1日株式会社レストを連結子会社化致しました。

建材ソリューション事業では、トイレブースを主体とするパーティションの製作・施工会社である株式会社レストをグループに加えることで、付加価値機能の拡充に取り組みます。

高島(株)トイレ

TAK 高島株式会社 本社 〒101-8118 東京都千代田区神田駿河台2-2 御茶ノ水香雲ビル TEL:03-5217-7600 <https://www.tak.co.jp>

日経アーキテクチャ（首都圏版）：11月28日号

更なる付加価値機能創出へ—

リニューアル市場は ワンストップで応える

TAK × Rest Corporation

2019年10月1日に創業104年を迎えた多角的専門商社、高島グループは10月1日株式会社レストを連結子会社化致しました。

機能性の高いトイレブースや洗面カウンター、壁面化粧仕上げのことならおまかせください

見積⇒製作⇒施工まで
ワンストップで対応可
まずはお相談を

トイレブース	洗面カウンター	壁面化粧仕上げ
<p>清潔性、快適性を兼ね備えたトイレブースの需要も増える。臭い・音対策が重要となるため、防臭・防音の機能性の高い製品も開発されています。また、R社社のスライドドアや緊急時対応ラッチ等の非常時の安心なご要望に、多くのお客様にご採用いただけるのが最大の強みです。</p>	<p>人工大理石、ボストフォーム等の多様な素材対応だけでなく、加工についての丁寧なご対応、加工・メンテナンスにも対応しております。また、より快適な暮らしを、コーナーとしての隅取りや収納ボックス等の周辺機能もあわせてご提案も可能です。</p>	<p>各種建材メーカーの内装建材を取り揃え、色・形状等の細かなご要望にも柔軟に対応いたします。また、防音・防臭、防汚・防湿など、様々なニーズへの対応も高まるなか、メーカーの最新技術を活かした提案もご用意しております。</p>

TAK 高島株式会社 高島(株)トイレ TEL:03-5217-7600

専用WEBサイト公開中

2-2. セグメント別概況_建材（トピックス）

(株)アイネックス等と共同で IoT対応の新会社「HITエンジニアリング(株)」への資本参加

企業情報

会社名 : HITエンジニアリング株式会社

代表者 : 代表取締役社長 早坂宜則

資本金 : 5,000万円

事業内容 : 住宅電気工事業、スマートハウス業

スマートハウスのコンサル提案

スマートハウス設備販売

創立 : 2019年6月

所在地 : 東京都品川区荏原2丁目4-40

URL : <https://hit-e.co.jp/>

2-2. セグメント別概況_産業資材（売上高・営業利益）



売上高は横ばいも、営業利益は減益

売上高
(百万円)

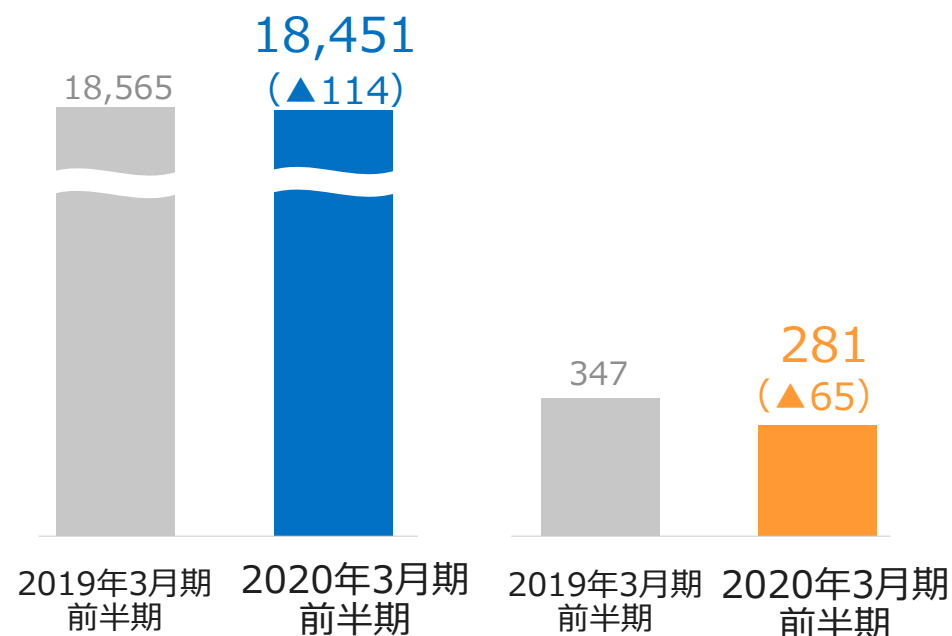
営業利益
(百万円)

売上高

18,451百万円
(前年比 99.4%)

営業利益

281百万円
(前年比 81.1%)



2-2. セグメント別概況_産業資材（分野別売上高）



繊維関連分野等での売上減少を電子部品関連分野での売上増加にて賄い、
産業資材セグメント全体では横ばい

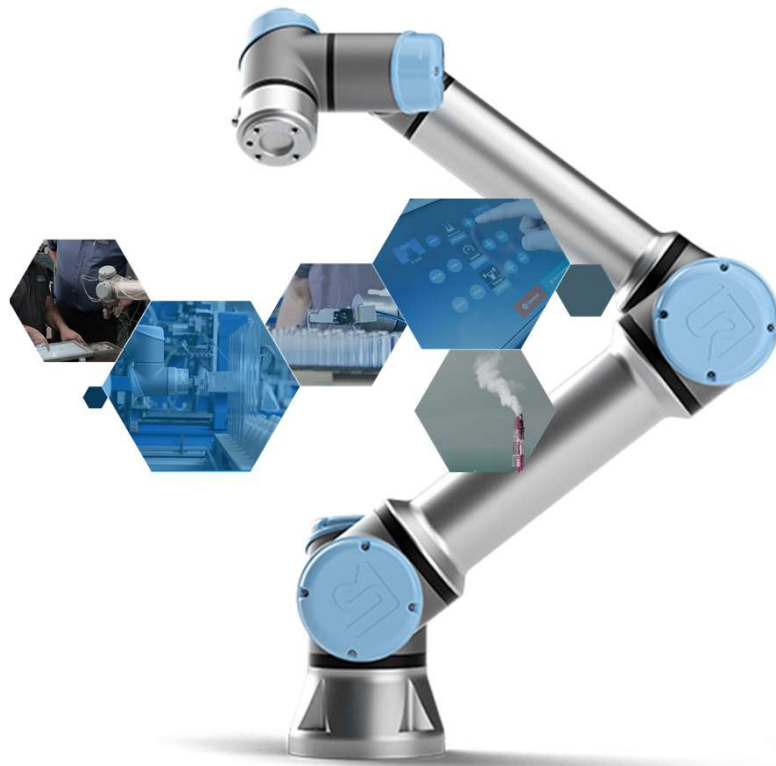
（単位：百万円）

分野	2019年3月期 前半期	2020年3月期 前半期	増減額	前年比	要因
樹脂	4,229	4,144	▲85	98.0%	・真空成型品（スマホ向け等）が減少
機能資材	977	895	▲81	91.6%	・工業資材、店舗向け省エネ改修が減少
繊維	6,413	6,063	▲349	94.5%	・アパレル関連市場低迷により減少
車輻部材	875	893	+18	102.1%	・国内車輻向け部材が堅調に推移
電子部品	6,070	6,455	+385	106.3%	・国内外向け家電製品部品やアSEMBリ品 などが堅調に推移
合計	18,565	18,451	▲114	99.4%	・電子部品分野で増収も繊維関連分野等での 売上減少により減収

2-2. セグメント別概況_産業資材（トピックス）

日本経済新聞に協働ロボット導入支援企業の一社として、
連結子会社 高島ロボットマーケティング株式会社の取組みが掲載

 高島ロボットマーケティング株式会社



製造業や物流 人手不足で中小に需要

これを商機と捉えたのが高島ロボットマーケティング（東京・千代田）だ。ロボットのプログラムを調整する「ロボットシステムインテグレーター（Sier）」10社程度と連携。11月から地方の中小製造業などに、協働ロボを安く手軽に導入できるパッケージサービスの販売を始めた。

初めてロボットを導入する企業でもプログラミングや組み立て、溶接などの作業を任せられるよう、手順などを設定した状態で提供する。設定も含めたレンタル費用は月約30万〜60万円、最短2ヵ月から利用できる。「地方の製造や物流など、大手が対応しきれっていない案件」（中才悦夫社長）を狙い、初年度に200件の受注を目指す。

許諾番号30072793日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。
掲載日 2019年11月13日 日本経済新聞朝刊 012ページ

(C)日本経済新聞社 無断複製転載を禁じます。

2-2. セグメント別概況_賃貸不動産（売上高・営業利益）

2018年8月売却の保有賃貸不動産の影響等により
売上高・営業利益共に減収減益

売上高
(百万円)

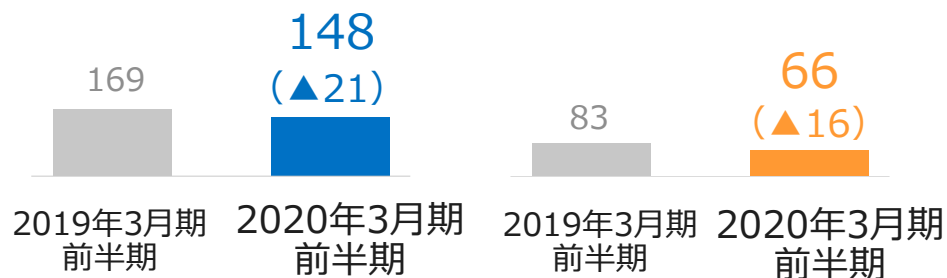
営業利益
(百万円)

売上高

148百万円
(前年比 87.5%)

営業利益

66百万円
(前年比 80.0%)



2-2. セグメント別概況_サマリー



産業資材セグメント・賃貸不動産セグメントでの減少を
建材セグメントでカバーし、全社では増収増益

(単位：百万円)

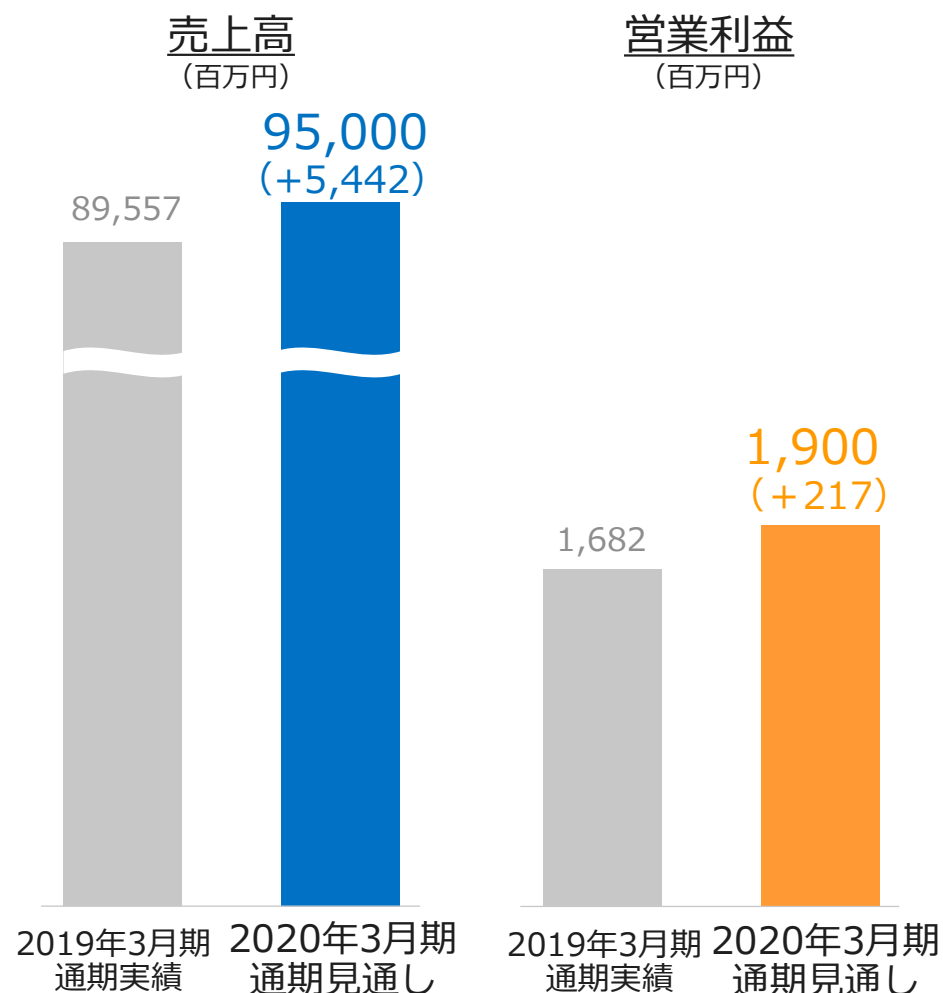
セグメント	科目	2019年3月期 前半期	2020年3月期 前半期	増減額	前年比
建材	売上高	24,357	25,580	+1,222	105.0%
	営業利益	294	391	+96	132.7%
産業資材	売上高	18,565	18,451	▲114	99.4%
	営業利益	347	281	▲65	81.1%
賃貸不動産	売上高	169	148	▲21	87.5%
	営業利益	83	66	▲16	80.0%
合計	売上高	43,093	44,180	+1,086	102.5%
	営業利益	725	739	+14	101.9%

3. 2020年3月期 通期業績見通し

3. 2020年3月期 通期業績見通し



業績予想については、2019年5月9日公表より変更なし



売上高

95,000百万円
(前年比 106.1%)

営業利益

1,900百万円
(前年比 113.0%)

3. 2020年3月期 通期業績見通し



業績予想については、2019年5月9日公表より変更なし

経常利益
(百万円)

純利益
(百万円)

経常利益

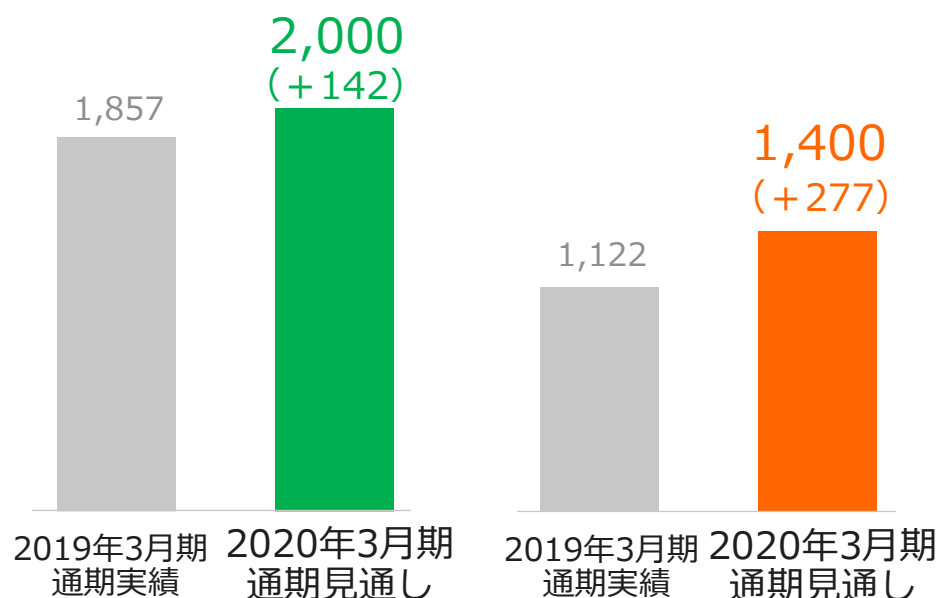
2,000百万円

(前年比 107.7%)

親会社株主に帰属する
当期純利益

1,400百万円

(前年比 124.7%)



3. 2020年3月期 通期業績見通し



(単位：百万円)

科目	セグメント	2019年3月期 通期実績	2020年3月期 通期見通し	増減額	前期比
売上高	建材	51,064	54,900	+ 3,835	107.5%
	産業資材	38,177	39,800	+ 1,622	104.3%
	賃貸不動産	316	300	▲ 16	94.9%
	合計	89,557	95,000	+ 5,442	106.1%
営業利益	建材	828	959	+ 131	115.9%
	産業資材	701	789	+ 88	112.6%
	賃貸不動産	152	150	▲ 2	98.3%
	合計	1,682	1,900	+ 217	113.0%
経常利益	—	1,857	2,000	+ 142	107.7%
親会社株主に 帰属する当期純利益	—	1,122	1,400	+ 277	124.7%

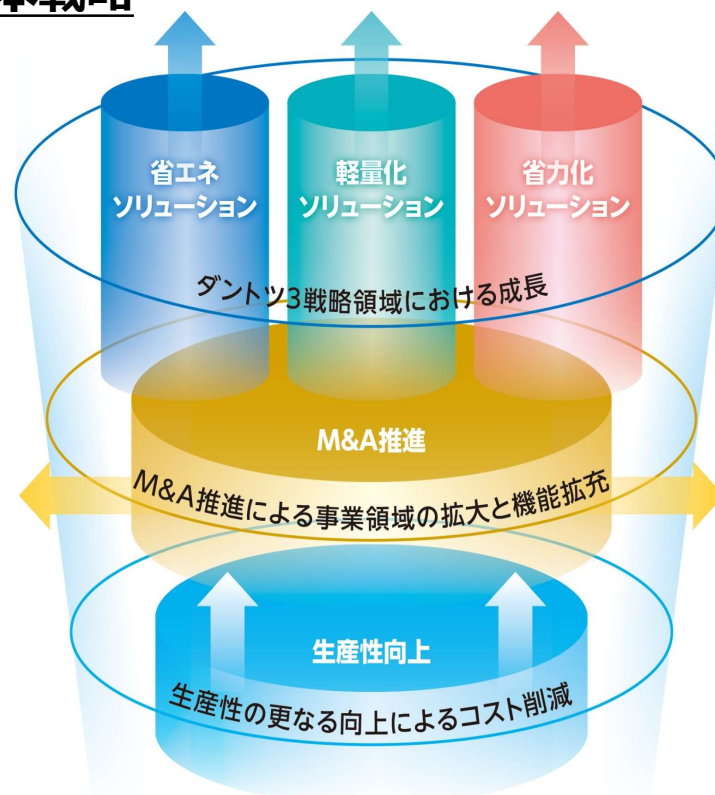
4. 中期経営計画について

4-1. 現中期経営計画『サステナ2020』の振り返り

「サステナ2020」取り組み方針

「攻めのガバナンス」体制を構築し、コンプライアンス・内部統制を強化しつつ、生産性の向上によるコスト抑制を図り、M&A推進による事業領域を拡大、機能の補充を行うことにより高島ならではのダントツ戦略を推進してまいります。

「サステナ2020」基本戦略



「サステナ2020」重点戦略

ダントツ戦略

M&A推進

生産性向上

コーポレート・
ガバナンス強化

4-1. 現中期経営計画『サステナ2020』の振り返り



ダントツ戦略

- ・ 省エネ、軽量化、省力化ソリューションを推進

M&A推進

- ・ 株式会社レストを連結子会社化

生産性向上

- ・ 基幹システムの刷新を2021年に予定
- ・ プロジェクトチームの立ち上げ、推進中

コーポレート・ガバナンス強化

- ・ 監査等委員会設置会社へ移行
- ・ 社外取締役の見直し、執行役員の増員を実施

4-2. 次期中期経営計画策定について



- 対象年度：2021年3月期～2023年3月期（3カ年）
- 公表時期：2020年5月頃予定
- 基本方針：現中期経営計画の学びを活かし、
基本戦略は継続

本資料にて開示されているデータおよび将来に関する予測は、本資料の発表日現在の判断や、入手可能な情報に基づくものであり、経済情勢や市場動向の変化等、様々な理由により変化する可能性があります。従いまして、本資料に記載された目標・予想の達成および将来の業績を保証するものではありません。